

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第19回議事要旨

(平成30年3月27日(火) 16時00分～17時00分、日本銀行本店会議室)

- 第18回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 「リスク・フリー・レートの利用拡大に向けたワーキング・グループ」から、2018年1月に開催された第4回ワーキング・グループにおける議論の概要が報告された。具体的には、これまでOIS取引を行っていない金融機関等向けに、OISに関する基礎的な知識や活用事例を纏めた資料「日本円OIS (Overnight Index Swap) —取引の概要と活用事例—」案を作成した、と報告され、同案が示された。議長から、同案を本勉強会として对外公表することが提案され、異論なく了承された。同資料は、4月入り後速やかに日本銀行ホームページ上に公表することとされた。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。また、ISDAから、「ISDAベンチマーク・ワーキンググループの進捗状況」について、アップデートが行われた。
- 続いて、議長から、リスク・フリー・レートの特定および日本円OISに関する資料の作成が完了したことを受け、本勉強会の設立目的に基づく活動に区切りが付いた旨発言があった。そのうえで、金利指標に関する今後の検討のあり方について討議が行われ、以下の見方が、勉強会として共有された。
 - (i) 金利指標の幅広いユーザーの参加を伴う、市場参加者による新たな検討体を早急に立上げることが重要であること
 - (ii) 新たな検討体の立上げに先立ち、バイサイドや一般事業法人等へのアウトリーチが必要であること
 - (iii) 新たな検討体の事務局については、日本銀行に担ってもらうことがよいのではないかとということ
- 議長から、日本円のリスク・フリー・レートについて改めて検討する必要性が生じた場合に備え、本勉強会はいったん休止とすることが提案され、異論なく了承された。

以 上

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第19回会合 参加者

(メンバー)

議	長	三 菱 東 京 U F J 銀 行	小 倉 毅
副	議 長	野 村 證 券	橋 本 茂
		S M B C 日 興 証 券	尾 島 一 博
		S M B C 日 興 証 券	近 藤 知 樹
		ゴ ー ル ド マ ン ・ サ ッ ク ス 証 券	田 口 研 吾
		大 和 証 券	稲 田 雄 一 郎
		ド イ ツ 銀 行	永 田 育 真
		ド イ ツ 銀 行	平 野 恵
		野 村 證 券	石 田 隼 人
		バ ー ク レ イ ズ 証 券	マ ー ク 篠 田
		み ず ほ 銀 行	河 野 哲 史
		み ず ほ 銀 行	久 保 秀 樹
		み ず ほ 銀 行	寺 下 博 之
		み ず ほ 銀 行	柊 田 浩 之
		み ず ほ 証 券	葛 西 弘 道
		三 井 住 友 銀 行	戸 村 重 貴
		三 井 住 友 銀 行	山 本 浩 司
		三 菱 東 京 U F J 銀 行	池 辺 和 広
		三 菱 U F J モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー 証 券	関 岳 洋
		モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー M U F G 証 券	澤 田 淳
		モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー M U F G 証 券	山 本 真 哉
		I S D A	森 田 智 子
		全 国 銀 行 協 会	大 峰 裕 之
		全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
		東 京 金 融 取 引 所	桑 原 光 太 郎
		東 京 金 融 取 引 所	瀬 尾 亮 介
		日 本 証 券 業 協 会	小 田 裕 将

日 本 証 券 業 協 会
日 本 証 券 業 協 会

田 口 順 一
中 瀬 裕 也

(オブザーバー)

金 融 庁
金 融 庁
金 融 庁
日 本 銀 行
日 本 銀 行

谷 川 修 平
林 朋 晃
松 井 章
服 部 良 太
大 竹 弘 樹

(敬称略)

以 上